

大学院博士前期課程修士学位論文

題 目

論文題目

指導教官

指導教官の氏名 (敬称は自動的に付加されないので注意)

報告者

著者の氏名

2003 年 2 月 19 日

大阪大学 大学院工学研究科
電子情報エネルギー工学専攻

大学院博士前期課程修士学位論文

論文題目

著者の氏名

内容梗概

内容梗概を書く。

キーワード

内容梗概、段落

目 次

1	序論	1
2	本論	2
2.1	使用可能な命令	2
2.2	その他の命令	2
3	結論	3
	謝辞	4
	参考文献	5
	付録	6

1 序論

ここにはまえがきを書く。序論に入る前には、このサンプルのように\body 命令を入れる。これによって、ページ番号が再設定される。

- itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。
- itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。
- itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。
- itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。
- itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。
- itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。
- itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。
- itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。
- itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。itemize 環境がうまく動くかどうかの例です。

2 本論

2.1 使用可能な命令

表紙を作成するために,

```
\title, \author, \supervisor,  
\deadline, \abstract, \keyword
```

といった命令が用意されている。各々の内容を指定し, \coverpage コマンドを使えば, 表紙, 内容梗概 (和文, 英文) が作成される。

2.2 その他の命令

その他, ベースとなっている jbook.sty に準拠したコマンドが利用できる。

3 結論

結論を書く。謝辞、参考文献、付録をこのあとにつけることができる。

謝辞

謝辞はこのように、`\acknowledgement` コマンドを用いて書く。

参考文献

- [1] 著者名: 表題, 雑誌名/書名, 巻, 号, ページ, 年月など

付録

付録はこのように、`\appendix` コマンドを用いて書く。付録が複数あり「付録 A」「付録 B」などとしたい場合は、

```
\appendix[A]
```

```
\appendix[B]
```

などとすればよい。